

7月の吾も紅目標は“夏を楽しむ”。

例年は8月の目標でしたが、季節の推移がだんだん前のめりになってきているため前倒して決行です。

まずは七夕短冊作り。

字を書くことを忘れないためにも、「書ける」人には一文字でも書いてもらうことを続けています。季節の行事やイベント、すべてはひそかに目論見があつてのこと。

願い事を考える過程で、皆さん頭を働かせます。

“なつかしい人に会えますように”（Aさん。「亡くなったご主人ですか？」と尋ねると、「主人に会う前の恋人よ」とのことでした）

“健康第一、商売繁盛”（女社長として店を立ち上げたYさん、生涯現役です）

“国連よ、もっとがんばれ！”（Iさん、弟さんが国連に勤めていたそうです）

“今年中に歩けますように”（Sさん）

“戦争のない世界を希う”（Mさん）

などなど、皆さん個性的な短冊ができあがり、お互いに読み合っ「なるほど」と刺激を受けていました。短冊の理由を聴いてもっとその人を知ることができます。字の書けない方には家族さんに思いを代筆してもらいました。家族にも考えてもらう機会を。吊るすのも利用者さん自身。自分の短冊は自分で吊るしてこそ、意味がある。願い事がかなうといいな～



13日、担当はUさんとS/Aさんで流しそうめん。

毎年、そうめんを流すレーンの水場と足場に苦勞しているのですが、今回はテントの骨組みを利用して、台所から縁側までのレーンを見事に工夫しました。皆さん楽しそうにそうめんをすくって（たくさん！）食べられていました。



14日は骨折治療のため入院していたTさんの「お帰りなさい」パーティー。

Tさんの好きなサーモンのお寿司でお祝いしました。Tさん前より元気になり、挨拶を述べられとても嬉しそう。吾も紅では、退院されたときにこのように快復祝いを開きます。

17日のSさんお誕生会、手作りケーキでお祝いです。

20日、担当S/Mさんによる「吾も紅オリンピック」開催です。
 開会宣言の後、競技はスプーンリレー、うちわ卓球、そして最後は「ピニャータ」というスペインのくす玉割り。どれも白熱したのですが、中でも最後のくす玉割りでは皆さん本能が爆発し、争って玉を投げ続け、しまいにはお互いにぶつけあってしまう（まるで本場のお祭りのような）始末…。
 見事割れたくす玉からは垂れ幕とともに美味しいお菓子が飛び出してきて嬉しいドッキリ。余韻に浸りつつ頂いたのでした。



このほか、26日は「川遊び」として杖の淵公園に、29日はひよこたん池公園に行きました。
 27日かき氷、28日スイカ割り、と夏を満喫です。



夏が終わったら、短冊は捨てずにとっておきます。それが“思い出”になる日がきっと来るから。
 そうやって私達は色あせない思い出作りを目的に楽しい日々を計画しています。